

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2017. 4. 10◆◆◆

春の日差しも心地よい季節になりました。

四国地方整備局長の名波です。

今日は四国地方整備局に関する平成29年度予算と、最近のトピックスを紹介します。

1. 平成29年度予算

(1) 国土交通省関係の平成29年度予算は、

- ・被災地の復旧・復興
 - ・国民の安全・安心の確保
 - ・生産性向上による成長力の強化
 - ・地域の活性化と豊かな暮らしの実現
- の4分野に重点化し、施策の効果の早期実現を図ります。

四国全体	3, 158億円	(対前年 1.01)
直轄	1, 341億円	(対前年 1.07)
補助・交付金	1, 816億円	(対前年 0.96)

直轄(事業別)

治水	40, 470百万円
海岸	1, 610百万円
道路	78, 870百万円
港湾整備	8, 856百万円
空港整備	1, 026百万円
都市水環境整備	483百万円
国営公園等	774百万円
官庁営繕	2, 108百万円

補助・交付金関係(県別)

徳島県	31, 513百万円
香川県	29, 922百万円
愛媛県	59, 423百万円
高知県	60, 731百万円

(2) 新規事業

直轄事業

[徳島県]

- 吉野川直轄河川改修事業(沼田地区)
- 吉野川直轄河川改修事業(中島地区)

阿南税務署

[香川県]

土器川河川工作物関連応急対策事業（土器川潮止堰）

[高知県]

一般国道56号 佐賀大方道路

補助事業

[愛媛県]

大洲・八幡浜自動車道 一般国道197号 大洲西道路

伊予市道日尾野引坂線（中山スマートICのアクセス道路）

(3) 完了・供用予定

主な完了（開通、完成）予定事業

直轄事業

[香川県]

高松空港滑走路改良

高松地方合同庁舎（2期）

[愛媛県]

重信川直轄河川改修事業（余土・市坪地区）

一般国道56号 松山外環状道路空港線

（国道56号～松山空港（側道部））※直轄施行は一部区間

補助事業

[香川県]

高松環状道路 主要地方道 円座香南線（中間工区）

※予算の概要はサイトでもご覧いただけます。

http://www.skr.mlit.go.jp/infomation/yosanngaiyo29/index_29jikkei.html

2. 四国八十八景

四国らしい風景や街並みなどの景観を選定して、その魅力を広くプロモートし、四国を訪れる観光客の増加を図る目的で平成27年度から取り組んでいる「四国八十八景プロジェクト」。去る3月8日に第一期分として22箇所が公表されました。

本日の「いきいき四国通信」でも、後ほど詳述しておりますので、是非ご一読ください。

3. 「道路啓開計画」の策定

地震発生直後に、道路管理者と関係機関が連携・協力して道路啓開を速やかに実施することを目的として設置された「四国道路啓開等協議会」での議論を経て、平成28年3月に「四国広域道路啓開計画」を策定しました。

南海トラフ地震では太平洋側において甚大な被害の発生が予測され、瀬戸内海側から太平洋側への啓開ルートが中心となるため、そのルート形状から「四国おうぎ（扇）作戦」と名付けており、発災後24時間で広域移動ルートの概ねの啓開、72時間で被害が甚大な被災地内ルートの概ねの啓開を目標としています。

また、この目標を実現するための具体的計画をすでに全県で作成しており、さらに高知、徳島両県では計画に基づき、地震発生後、準備が整い次第、あらかじめ区間を割り当てた地域の建設業者が自動的に啓開作業に着手できるよう、国・県・建設業協会と協定の締結を行いました。

今年度、香川、愛媛両県においても同様に協定の締結を行うこととしています。

いきいき四国通信Vol. 86 (配信版) .txt
今年度も引き続き、四国地方整備局の実施する事業にご理解とご協力をお願いします。

四国地方整備局長 名波 義昭

■ポカポカ陽気にさそわれて・・・ おさんぽ 花日和。
国営讃岐まんのう公園「春らんまんフェスタ」開催中

【香川河川国道事務所 公園課】

国営讃岐まんのう公園は、四季折々の花や草木が鑑賞でき、年間を通じて工作体験や里山体験、イルミネーションなど多くのイベントを行っております。

春の公園では、5月7日（日）まで毎年好評の「春らんまんフェスタ」を開催しています。春のポカポカ陽気の中、まんのう公園でお散歩しませんか。

4月中旬頃までは花竜の道で32品種約5万本のチューリップ、さぬきの森などで自生種のオンツツジがご覧いただけます。その後も青い花が鮮やかなネモフィラ、シャレーポピーなど、5月末頃まで園内各所で色とりどりの「フラワーリレー」が楽しめます。

期間中は週末を中心に、季節の花を使って作品を作るハーブ教室などの各種体験教室のほか、「まんのう町の日」や「みどりの音楽会」、「春の昆虫教室」など盛りだくさんのイベントを開催します。

皆様、ぜひ国営讃岐まんのう公園の『春らんまんフェスタ』にお越しください。

※1. 4月23日（日）、5月4日（木・祝）、5月5日（金・祝）は入園無料日です。
（5月5日はこどものみ入園料が無料です。また、各日とも駐車料金が別途必要です。）

※2. 季節の花情報や旬のイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページでご確認ください。（<http://sanukimannoupark.jp/>）

■四国八十八景第一期決定！

【企画部 企画課】

四国らしさの感じられる素晴らしい景観を四国八十八景として選定し、四国来訪者の増加と地域活性化の実現を図ることを目的とした「四国八十八景プロジェクト」の第一期選定として、『22箇所』が発表されました！

なお、今回の選定は、来年度に予定している第二期募集における「応募の見本」となるよう、応募199箇所から22箇所を厳選しております。

【第2回 四国八十八景 実行委員会 及び 選定証交付式】

- 1 日 時：平成29年3月8日(水) 15:00~16:00
- 2 場 所：高松サンポート合同庁舎13階1306, 1307会議室
- 3 選定証交付式にご出席された方々：
 - ・徳島県 風景名：船上から満喫する大歩危峡の渓谷美
(大歩危峡観光遊船(有)大歩危峡まんなか 代表取締役専務 大平 修司 様)
 - ・香川県 風景名：雄大な瀬戸大橋を絵画のように観賞
(香川県立東山魁夷せとうち美術館 館長 篠永 恭一 様)
 - ・愛媛県 風景名：亀老山山頂から望む来島海峡
(今治市 産業部観光課 主事 野間 健太 様)
 - ・高知県 風景名：四万十川河畔から眺めるヤナギ林と一面の菜の花
(四万十市観光振興連絡会議 入田地区長 橋本 勝幸 様)

※第一期選定箇所については四国八十八景ホームページにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/88-kei/index.html>

※第二期については、平成29年4月1日から7月31日の間で公募します。

■吉野川脇町第一堤防 竣工式

【徳島河川国道事務所】

徳島県美馬市脇町の無堤地区で昭和48年度より整備を進めていた、延長3,460mの脇町第一堤防が完成しました。

脇町第一箇所は、吉野川左岸の河口から43km付近に位置し、古くから度重なる洪水被害を受けてきた箇所で、平成16年の台風23号は戦後最大規模の洪水となり、浸水面積約52ha、浸水家屋55戸の被害が発生するなど、堤防整備は当地区の悲願でもありました。

上流からの工事が3,100m進んだところに廃棄物処分場があり、事業調整のため平成4年度から下流端360mの工事を残して一時中断していましたが、その期間は約20年にも及びました。

美馬市や徳島県の協力を得ながら、平成23年度に事業を再開すると、平成28年度末に44年の歳月をかけて一連の堤防が完成し、戦後最大規模の洪水でも吉野川の氾濫から当地区が守られるようになりました。

式典は2月26日(日)に当地区河川敷で、徳島県、美馬市、徳島河川国道事務所の主催で行われ、山口俊一衆議院議員、三木亨参議院議員、海野修司徳島県副知事、藤田元治美馬市長、県市議会議員、自治会長、工事関係者など約100名の方々にご参加いただきました。

四国地方整備局長の式辞から始まり、海野修司徳島県副知事、藤田元治美馬市長から挨拶をいただきました。続いて、国会議員の方々から祝辞をいただき、地元関係者

への感謝、堤防完成による地域発展への期待などが述べられ、最後に徳島河川国道事務所長の事業経過報告で閉会しました。

式典後は、堤防上に場所を移動して「くす玉開披」を行いました。引き手に地元の脇町小学校と江原南小学校の児童6名も加わり、竣工を祝いました。

詳細は、「Ourよしのがわ」3月発刊号 (Vol. 10) 24, 25ページをご覧ください。
<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/kouhoushi/pdf/h2903.pdf>

■「大渡ダム大橋」修繕代行完成式

【土佐国道事務所】

仁淀川町が管理する「大渡ダム大橋」の国による修繕代行が、本年3月1日に全国に先がけて完成を迎え、3月18日(土)に、仁淀川町及び土佐国道事務所の主催により完成式典を執り行いました。

式典には地元選出の国会議員、高知県及び仁淀川町をはじめ地元関係者など約40名の方々に参加いただきました。

式典は、はじめに主催者である四国地方整備局長より、地域住民の皆様をはじめ関係者へのお礼の後、「建設当時の状況や、地域にとっての生活道路及び緊急時の輸送道路として、欠かせない重要な橋であること。また、建設後33年を経過し老朽化が進行しており、仁淀川町からの要請を受け平成26年度に『直轄診断』を実施し平成27年度からは『修繕代行』を開始し、全国に先がけて修繕代行事業の完成を迎えた。」との主催者挨拶があり、その後、大石 弘秋仁淀川町長の挨拶に続き、国会議員の来賓の方々より祝辞をいただき、最後に事務所長から事業経過が報告されました。

その後、大渡ダム大橋に移動し、くす玉開披・完成パネル除幕を「ふたば保育所」園児とともに執り行いました。

今回の修繕代行事業の各段階(詳細調査時、補修施工時)において、補修ノウハウをお伝えする勉強会を実施することで、仁淀川町職員はもとより、県内技術系職員の技術力向上にお役に立つことができたものと思われます。

また、工事中に開催した地元小学生を対象とした現場見学会では、児童から「将来はこんな仕事をしたい。」という声上がるなど、今はまだ小さな技術者さん達に夢を与えることができたのではないかと感じております。

これからも、この大渡ダム大橋が地域の皆さまから末永く愛され、親しみを持って使っていただけることを祈念しています。

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

いきいき四国通信Vol. 86（配信版）.txt

自治体担当者様におかれましては、首長様への周知とあわせて、職員の方への周知もお願いいたします。

「いきいき四国通信」に関するご意見、配信中止・配信先変更のご希望等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

国土交通省 四国地方整備局 企画部 「いきいき四国通信」事務局

mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp
